

與_二世間文字法師_一共_{ナラ}。亦不_レ與_二事相禪師_一共_{ナラ}。一種禪師唯有_二觀心一意_一。或淺或偽。餘九
 全無。此非虛言。後賢有眼者當證知也。弘七云。文字法師者內無_二觀解唯構_一法相。
 事相禪師者不_レ閑_二境智鼻膈止心_一。乃至根本有漏定等。一師唯有觀心一意等者。此且
 與_レ而爲_レ論。奪_レ則觀解俱闕。世間禪人偏向_二理觀_一。既不諳_レ教。以_レ觀消_レ經。數_レ八邪八風。
 爲_二丈六佛_一。合_二五陰三毒_一。名爲_二八邪_一。用_二六入_一。爲_二六通_一。以_二四大_一爲_二四諦_一。如_レ此解_レ經。僞
 中之僞。何淺可_レ論等云云。止觀七云。昔_レ鄴洛禪師名播_二河海_一。住_二則四方雲_一。仰去
 則阡陌成_レ群。隱々轟々亦有_二何利益_一。臨終皆悔等云云。弘七云。鄴洛禪師者鄴在_二相州_一。卽
 齊魏所_レ都。大興_二佛法_一。禪祖之一。王_二化其地_一。護_二時人意_一。不_レ出_二其名_一。洛卽洛陽等
 云云。六卷般泥洹經云。不_レ見_二究竟處者_一。不_レ見_二彼一闍提輩究竟惡業_一等云云。妙樂云。第
 三最甚轉難_レ識故等。無眼_レ者。一眼_レ者。邪見者。末法の始の三類を見_レべからず。一分の
 佛眼を得_レもの。此をしるべし。向國王大臣婆羅門居士等云云。東春云。向公處毀法謗人
 等云云。夫昔像法の末には護命修圓等、奏狀をさ_レげて傳教大師を譏奏す。今末法の
 始には良觀・念阿等、僞書を注して將軍家にさ_レぐ。あに三類の怨敵にあらずや。當
 世の念佛者等、天台法華宗檀那の國王・大臣・婆羅門居士等に向_レ云、法華經は理深、我等

①〔亦〕一 ②住 = 住 ③

は解微、法は至て深、機^①至て淺等申うとむるは、高推聖境非己智分の者にあらずや。禪宗云、法華經は月をさす指、禪宗は月也。月をえて指^{ゆび}なにかせん。禪は佛の心、法華經は佛の言也。佛法華經等の一切經をとかせ給後、最後に一ふさの華をもつて迦葉一人にさづく。其しるしに佛の御袈裟を迦葉に付屬し、乃至付法藏の二十八、六祖までに傳等云云。此等の大妄語、國中を誑醉せしめてとしひさし。又天台・眞言・高僧等、名は其家にえたれども我宗にくらし。貪欲は深く、公家武家ををそれて此義を證伏し讚歎す。昔の多寶分身の諸佛は法華經の令法久住を證明す。今天台宗の碩徳は理深解微を證伏せり。かるがゆへに日本國に但法華經の名のみあつて得道の人一人なし。誰をか法華經の行者とせん。寺塔を焼て流罪せらるゝ僧侶はかずをしらず。公家武家に諛てにくまるゝ高僧これ多。此等を法華經の行者というべきか。佛語むなしからざれば三類の怨敵すでに國中に充滿せり。金言のやぶるべきかのゆへに法華經の行者なし。いかんがせんく。抑たれやの人か衆俗に惡口罵詈せらるゝ。誰、僧か刀杖を加へらるゝ。誰の僧をか法華經のゆへに公家武家に奏する。誰の僧か數數見擯出と度々ながさるゝ。日蓮より外に日本國に取出んとするに人なし。日蓮は法

①機十(は)圖 ②[ん]一圖 ③[へら]一圖 ④[ん]一圖